

# 令和2年度 第1回 諏訪市まち・ひと・しごと創生本部会議 会議録

## ○ 日時

令和2年10月19日（月）午後2時～3時

## ○ 会場

諏訪市役所 大会議室

## ○ 出席者

<本部長>

金子市長

<副本部長>

渡辺副市長、小島教育長

<本部員>

松木総務部長、木島企画部長、花岡市民部長、関健康福祉部長、中島経済部長、  
小松建設部長、茅野水道局長、後藤教育次長、前澤議会事務局長

<幹事>

三村総務課長、池上秘書広報課長、寺島企画政策課長、細野財政課長、  
柿澤地域戦略・男女共同参画課長、守屋こども課長、小松健康推進課長、  
金子商工課長、伊藤観光課長、金子都市計画課長、柳平教育総務課長

<事務局>

中澤企画政策係長、茅野企画政策係主査、西澤企画政策係主任

## ○ 会議結果

- ・諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果（案）、改訂（案）について、承認を受けた。

## ○ 会議概要

### 1 開会

#### （木島企画部長）

- ・第1回諏訪市まち・ひと・しごと創生本部会議を開催する。
- ・会議開催に先立ち、本部長である金子市長より挨拶がある。

### 2 本部長挨拶

#### （金子市長）

- ・令和2年度第1回の「まち・ひと・しごと創生本部会議」を開催する。
- ・現在の諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、昨年度の時点修正により計画期間を令和3年度まで2年間延長した。各部局においては、総合戦略に基づき地方創生に向けた様々な取組を展開している。

- ・総合戦略には KPI（重要業績評価指標）を設定しており、施策の進行管理、効果検証を行うこととしている。本日の会議では、各部局が提出した総合戦略の効果検証結果を確認、調整させていただく。そして、11月5日に開催する「諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議」において、外部有識者の皆さんから効果検証に当たりご意見を伺う予定である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、短い会議時間の中で要点を捉えた議論をしていきたい。
- ・今後の市の地方創生推進にあたり、それぞれの視点から積極的なご意見をいただきたい。

### 3 議事

#### (1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果について

##### (本部長)

- ・「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証・改訂について」。まず、「①効果検証について」「②改訂について」事務局より説明する。

##### (事務局)

※資料 1、資料 2 に基づき説明

##### (本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(意見等なし)

##### (本部長)

- ・続いて、「③総合戦略効果検証結果（案）」について、事務局より説明する。

##### (事務局)

※資料 3 に基づき、効果検証結果（案）の概要、一之柱の効果検証について説明

##### (本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

##### (本部長)

- ・コロナにより目標値達成が厳しくなっている。かといって、コロナによる新たな目標設定は難しいというのは同意見。来年の効果検証時については、コロナの影響について触れていきたい。

##### (本部長)

- ・続いて、二之柱について、事務局より説明する。

##### (事務局)

※資料 3 に基づき、二之柱の効果検証について説明

##### (本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。
- ・「移住・定住サポートサイトへのアクセス件数」が大きく減少している。意見をいただきたい。

##### (幹事)

- ・計画当初とアクセス数のカウント方法が変わってきている。今後見直しをしていきたいが、

現計画期間まではこの目標としていきたい。

**(本部長)**

- ・目標は変えずにということだが、新計画時には KPI について再検討していただきたい。
- ・続いて、三之柱について、事務局より説明する。

**(事務局)**

※資料 3 に基づき、三之柱の効果検証について説明

**(本部長)**

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。
- ・ファミリー・サポート・センター利用件数について達成度目安と担当課判断が違う。これについて意見をいただきたい。

**(本部員)**

- ・令和元年度第 4 四半期はコロナの影響で利用者が減った。しかし、令和 2 年についてはコロナの影響により一時的に伸びている。

**(副本部長)**

- ・このような判断は他の項目でもあるのか。

**(事務局)**

- ・事務局では各課の判断を尊重しているが、目安と判断が合っているかは確認をしている。違っている場合は担当課に確認して理由を聞いている。しかしながら、あくまでこれは「目安」。理由があれば目安と違う達成度の判断をしてもよい。例えば入場者数等であれば休館期間等ははっきりしているので、それに基づいた結果となる。その他については個別に判断するが、最終的にこの本部会議や有識者会議で判断をしていく。

**(幹事)**

- ・ファミリー・サポート・センター利用件数について、当課では概ね順調という判断をした。これは在宅育児支援事業として実施している。しかしながら子育て全体で考えると、病児病後保育利用者数は増加、保育所の待機児童数については 0 を維持している。全体としてはしっかりと育児サポートはできていると判断している。また、利用件数は延べ件数であり、同一の保護者が複数回利用したものもカウントしている。数字は減っているが利用したい保護者が利用できていない訳ではない。目標値は下回るが、こども課全体として在宅育児支援は上手くできている。また、必要なサポートは行き届いていると考え、概ね順調とした。

**(本部長)**

- ・目標値が高すぎるということはないか。

**(幹事)**

- ・当初の見込み、キャパシティを考えると妥当と判断している。

**(副本部長)**

- ・このような場合、数値だけの判断とならないということで理解した。

**(本部長)**

- ・続いて、四之柱について、事務局より説明する。

**(事務局)**

※資料3に基づき、四之柱の効果検証について説明

**(本部長)**

・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

**(本部長)**

・博物館入場者数及び美術館入場者数について、資料を整理するための休館期間があることから概ね順調という判断をした。駅前交流テラスすわっチャオ利用者数については順調となっているが、今年度はコロナの影響で厳しい状況にある。

**(本部長)**

・「③総合戦略効果検証結果（案）」全体を通じて、質問・意見をお伺いしたい。

**(本部長)**

・コロナの影響を受けた項目がいくつかあるが、全ての事業について達成度判断が統一できているのか。

**(事務局)**

・事務局としては基本的に担当課の判断を尊重している。事業により影響も違う。その中で、最終判断はこの本部会議や有識者会議で決定していくものである。

**(本部長)**

・横並びでみると、整合が取れていないといけないと思う。

**(事務局)**

・個別に状況が違う。もし現時点で修正があるのであれば、事務局に連絡していただきたい。

**(本部長)**

・続いて、「④改訂箇所一覧」について、事務局より説明する。

**(事務局)**

※資料4に基づき、改訂箇所について説明

**(本部長)**

・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(意見なし)

**(本部長)**

・いただいた意見等に対して再度調整、修正し、11月5日開催の「まち・ひと・しごと創生有識者会議」の議題として、外部有識者の意見を伺いたいが、承認をいただける方は挙手願いたい。

(挙手多数)

**(本部長)**

・承認いただいたことから、これを議題とする。

#### 4 その他

**(木島企画部長)**

・事務局より説明する。

**(事務局)**

- ・修正等あれば10月23日(金)までに企画政策課へ連絡いただきたい。
- ・有識者会議について、本部員は総合戦略効果検証を議題としている部分について参加をお願いしたい。

**(木島企画部長)**

- ・これ機会に、判断の理由についてしっかり説明できるようにして、アピールできる内容はアピールしていただきたい。

**5 閉会**

**(渡辺副市長)**

- ・有識者会議を経て最終の効果検証となるが、それぞれ担当課の努力を評価いただきたい。
- ・数値達成だけが目標ではない。市民へのアプローチ、不測の事態への対応や準備ができているのかというものを含めて市民からは評価される。本当の意味での成果について、各職場で考えていくことを浸透させてほしい。

(閉会 15時5分)